

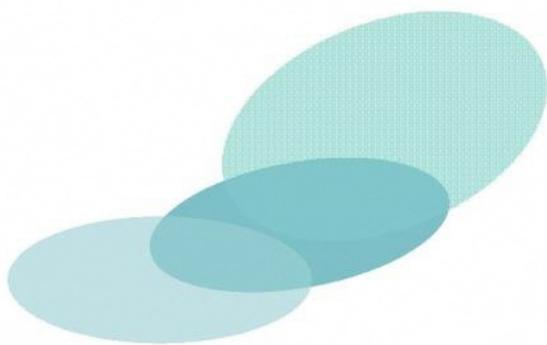
実践研究 東京ラウンドテーブル<sup>s</sup>

Winter sessions 2018 in Tokyo Gakugei University

# 実践し 省察する コミュニティ

Round Tables:  
Winter Sessions  
for Reflective Practice  
and Organizational Learning

For Communities of Practice and Reflection since 2001



実践の長い道行きを語り  
展開を支える営みを聴き取る

- ★  
自らの実践を省察し  
展望をひらくために
- ★★  
実践を省察する  
学び合う地域と職場をつくるために
- ★★★  
新しい実践研究と  
研究ネットワークをつくるために

## 2018.12.22-23

東京学芸大学 講義棟 N 棟

東京学芸大学社会教育主事課程  
実践研究東京ラウンドテーブル実行委員会 / 社会教育実践研究フォーラム  
全国社会教育職員養成研究連絡協議会（社養協）  
福井大学大学院教職開発専攻

参加について

以下の URL の申し込みフォームからお申し込みください。

<https://ws.formzu.net/fgen/S97038181/>



# 12/22 (sat)

Session I 13:00-13:50

## ポスターセッション1

---

公民館など地域の社会教育実践、大学での実習など、学びあうコミュニティの展開をポスターセッションで交流します。

Session II 14:00-17:00

## 「社会教育士」の養成と期待される役割—実習を通して考える—

---

2020年度より、社会教育主事養成課程の科目が変更され、「社会教育実習」は必修となります。また課程修了者は「社会教育士」と称することができるようになります。大学等で社会教育主事養成課程を修了した人には、教育のみならず、福祉・まちづくり・環境等、自治体や民間の多様な分野の仕事や活動に「社会教育士」としての学びを活かすことが期待されるようになります。

\* 「社会教育士」として期待される職業や活動の例

公民館職員、青少年施設職員、男女共同参画センター職員、社会教育指導員、施設の指定管理者職員、保健師、児童館指導員、社会福祉関係職員、NPO職員、市民団体（ボランティア団体）のコーディネーター、一般行政職員、大学職員、学校教員、etc.

そこで、Session IIでは、「社会教育士」としての役割は何か、そのために「社会教育実習」でどのような力を身につけるべきかについて考えます。まず、「社会教育士」をめぐる省令改正などについて情報提供したうえで、現在「社会教育実習」を受け入れている職員と実習生から、実際の実習場面や学んだことについて語ってもらい、実習のあり方を考えます。

<情報提供>

「社会教育士」に期待される役割 —「社会教育主事養成の見直しに関する省令改正」をめぐる—  
入江直子（全国社会教育職員養成研究連絡協議会理事）

<シンポジウム>

「社会教育実習」ではどのような力を身につけることができるか—実践を通して考える—

東京都内で社会教育実習を受け入れている施設職員と社会教育実習生（東京学芸大学、明治大学など）から報告いただきます

コーディネーター 村田晶子（早稲田大学）

Session III 17:10-18:00

## 語らいの広場 —社養協企画—

---

東京ラウンドテーブルを共催している、全国社会教育職員養成研究連絡協議会（社養協）は、コミュニティのコーディネーターが実践を語り合う「語らいの広場」を開いています。Session IIのシンポジウムを聴いて、自分の実践に引きつけて話し合う時間を呼びかけたいと思います。

# 12/23(sun)

Session I 9:00-9:30

## ポスターセッション2

Session II 9:40-14:30 ラウンドテーブル

## 実践の長い道行きを語り 展開を支える営みを聴き取る

地域や職場で自分たちの実践をじっくり跡づけ、その省察をふまえて実践を編み直していく。地域・職場を大人同士が実践を通して学び合う協働体（コミュニティ）に変えていく。その中で一人一人が、省察的で主体的な実践者としての力を培っていく。そうした地道な取り組みが、少しずつ蓄積されてきています。

<ラウンドテーブル>

試行錯誤しながら大切に進められてきている実践を、少人数のグループで伝え合い、じっくり展開を聞きとり、学び合う場を作りたいと思います。

## 申し込み方法

以下のURLの「申し込みフォーム」に必要事項①～⑨をご記入のうえ、締切日までに送信してください。右のQRコードからも「申し込みフォーム」にアクセスできます。ポスターセッションの申し込みについては、「ポスターセッション募集要項」をご覧ください。

申し込み先：<https://ws.formzu.net/fgen/S97038181/>

申し込み締切日：2018年12月12日(水)



- ① 名前 / ②フリガナ / ③所属1 / ④所属2 / ⑤メールアドレス /  
⑥参加状況（1日目のみ・2日目のみ・両日参加・弁当希望<sup>\*1</sup>） /  
⑦ラウンドテーブルでの報告（する・しない） / ⑧報告予定のタイトル / ⑨メッセージ<sup>\*2</sup>

【※1】2日目（12/23日曜日）は食堂・購買が休業のため、昼食は各自ご準備いただくか、会場で弁当を購入ください。弁当（¥700・お茶付き）は事前申込制です。弁当を申込みされる方は「弁当希望」もチェックしてください。

【※2】ポスターセッションで報告をしたい方は、その旨と1日目・2日目・両日のどちらでの報告を希望されるか「メッセージ欄」にご記入ください。後日、詳細をお伝えいたします。

問合せ：倉持 伸江（実行委員長・東京学芸大学）

Eメール：[tokyo\\_round@yahoo.co.jp](mailto:tokyo_round@yahoo.co.jp)

電話・FAX 042-329-7353

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1

東京学芸大学 総合教育科学系 生涯教育分野 倉持研究室

地図：<http://www.u-gakugei.ac.jp/access/>

